ブによく似た植物であったという。



末文ながら，貴重な標本を恵与された深町宗通氏，本種の♀を検する機会を与えて下さった黒沢良彦博士に感謝したい。

＊）模式標本には種名を示すラベルが一枚あるだけで，産地，日付を示すラベルはまったく付いていない。（黒沢良彦，1970，日本産タマムシ科解説9，甲虫ニュース No.11より）

（〒110　台東区台東2-29-6）

札幌におけるシリグロナカボソタマムシの記録

安井　正

シリグロナカボソタマムシ *Coraebus kiangsuanus nigromaculatus* Y. KUROSAWA は，現在までの採集例は数例しかないと聞いているが，筆者は1972年に札幌で1♀を採集したので報告しておきたい。今までは本州からのみ採集されており，今回の記録は北海道初記録と思われる。



1♀，札幌市円山，13. Ⅷ. 1972，安井正採集

円山動物園の北側を通って，藻井山にいたる途中にある「宮が丘ユースホステル」前の側溝に落ちていたものを得た。この付近の道路は札幌オリンピックのために整備されたもので，その当時に側溝と水銀燈がつけられた。

なお，この側溝では本種と同時にエゾアカガネオサムシ(多数)・セダカオサムシ(2♀♀)・オオルリオサムシ(1♂1♀)・ヤハズカミキリ（1♂）などが採集された。

このシリグロナカボソタマムシの標本は現在，北海道大学農学部・応用昆虫学教室に保管されている。

（〒065　札幌市北区北26条西6）

オオウグイスナガタマムシの東限記録

藤田　宏

オオウグイスナガタマムシ *Agrilus asiaticus igai* Y. KUROSAWA は本州・九州・対馬より記録されており，本州においては主に関西以西で得られている。東限は長野県伊那谷とされている*が，筆者は東京都下産の標本を所持しているので記録しておきたい。



1ex.，東京都下町田市鶴川，9. Ⅵ. 1972，小倉直樹採集

*)黒沢良彦(1974)：日本産タマムシ科概説(10)，甲虫ニュース Nos. 17・18

（〒110　台東区台東2-29-6）

小笠原父島における アカアシハナコメツキの採集例

鈴木　亘

アカアシハナコメツキ *Dicronychus* (*Platynychus*) *adjutor* (CANDEZE) は，本州・四国・九州・琉球・台湾・朝鮮などに分布するが，あまり多い種ではないようである。小笠原父島における本種の記録は，VAN ZWALUWENBURG (1957)* に未同定のものとして報告されているだけで，その後の報告はない。しかし筆者は幸いにも父島で採集された本種を検することができたので，ここに報告しておく。



1♀，父島三日月山，30. Ⅴ. 1975，藤田宏採集

末筆ながらこの発表にあたり色々と御教示頂いた大平仁夫博士，ならびに貴重な標本を恵与された藤田宏氏に深く感謝する。

*)VAN ZWALUWENBURG, R. H. (1957) Insects of Micronesia (Coleoptera: Elateridae), Ins. Micronesia, 16(1)：62-63.

（〒156　世田谷区桜3-14-13）

沖縄本島でイリエシラホシ サビカミキリを採集

酒井　案理

イリエシラホシサビカミキリ *Mycerinopsis*(*Zotale*)

apomecynoides HAYASHI は最近，林匡夫博士により記載された種で現在，同属の北限種とされている。本種は原産地である奄美大島のみで得られていたようであるが，筆者は1973年，春期および夏期に沖縄本島を訪れた際，本種を採集しているので報告する。

1♂，沖縄本島与那覇岳，12. Ⅳ.1973，酒井案理採集
1♂，　同　　上，9. Ⅶ.1973，　同　上

1♂は枯枝（樹種不明），1♀はシマサルナシの古い枯づるのビーティングによる。

なお，奄美産の個体と比べても特に差異はないようである。

（〠177　練馬区関町1-125）

ニイタカハナカミキリの食樹について

秋葉　孝雄

ニイタカハナカミキリ *Anoplodera dissimilis*(FAIRMAIRE) の食樹がリュウキュウマツではないかという予想は以前からあったが，それに関する報告はまだないようである。筆者は，リュウキュウマツ *Pinus luchuensis* MAYR の立枯中から本種成虫を採集しているので報告する。

5♂♂4♀♀，奄美大島朝仁，11. Ⅳ.1975

この立枯れは直径 10cm 程で比較的古いものであった。

（〠345　北葛飾郡杉戸町清地2-17-2）

3月下旬・トカラ列島宝島のカミキリ

内野　　晃

私は1975年3月23～28日，宝島に滞在したが，その間に得られたカミキリムシのリストを報告する。

1. ワモンサビカミキリ
   Pterolophia annulata (CHEVROLAT)
   1♂，24. Ⅲ.1975：3♂♂1♀，27. Ⅲ.1975
2. オビレカミキリ
   Euseboides matsudai GRESSITT
   4♂♂1♀，27. Ⅲ.1975
3. オキナワサビカミキリ
   Diboma costata (MATSUSHITA)
   2♂♂1♀，27. Ⅲ.1975
4. アヤモンチビカミキリ
   Sybra ordinata tokara HAYASHI
   1♂，24. Ⅲ.1975：1♂，27. Ⅲ.1975
5. オオシマウスアヤカミキリ
   Bumetopia japonica oshimana BREUNING
   1♀，26. Ⅲ.1975

オキナワサビカミキリとオビレカミキリはトカラ列島初記録と思われる。タブ・クスノキ・ヤブニッケイの枯枝および枯れづるの beating で得た。

（〠812　福岡市東区箱崎3-13-9　松井輝久方）

西表島初記録のカミキリ4種

矢野　立志

沖縄県西表島にて，同島より未記録であったと思われるカミキリ4種を採集することができたので，ここに報告する。

1. イシガキトゲウスバカミキリ*
   Megopis (*Spinimegopis*) *buckleyi ishigakiana* YOSHINAGA et NAKAYAMA
   1♂，西表島白浜，4. Ⅴ.1975
   白浜部落内の燈火（60W程度の白熱電球）に飛来したものを採集。採集時は気温24.5°Cで，湿度はかなり高いように思われた。（写真左上）
2. フトヒゲウスバカミキリ
   Megopis sinica validicornis GRESSITT

